

農 林 水 産 統 計

九州農政局大分農政事務所統計部

STATISTICS OF AGRICULTURE, FORESTRY AND FISHERIES

平成19年4月27日公表

平成18年 海面漁業・養殖業生産量の概数（大分県）

- 総生産量は前年を下回る -

【調査結果の概要】

- 平成18年（1～12月）の海面漁業・養殖業の生産量は6万8,144 tで、前年に比べ4,851 t（7%:対前年比、以下同じ）減少しました。
- 海面漁業の漁獲量は4万8,103 tで、前年に比べ5,284 t（10%）減少しました。
これを漁業種類別にみると、まき網で大幅な減少となったほか、その他の刺網、はえ縄等で減少しました。
魚種別では、前年豊漁であったさば類が大幅に減少したのをはじめ、まぐろ類、いか類も減少しました。
一方、いわし類(主にうるめいわし)、たちうお、貝類（主にあさり類）は増加しました。
- 海面養殖業の収穫量は2万42 tで、前年に比べ434 t（2%）増加しました。
これは、まだい、かきで減少したものの、ぶり類、のり類で増加したことによります。

部 門 別 生 産 量

単位 { 生産量：t
比率：%

区 分	平 . 18	17	対前年差	対前年比	構成比(平 . 18)
総 生 産 量	68 144	72 995	4 851	93	100
海 面 漁 業	48 103	53 387	5 284	90	71
海 面 養 殖 業	20 042	19 608	434	102	29

注：ラウンドのため、総生産量と内訳は一致しない場合があります。

【解 説】

1 海面漁業

海面漁業の漁獲量は4万8,103 tで、前年に比べ5,284 t（10%）減少しました。

主な漁業種類別・魚種別には、次のとおりです。

(1) 主な漁業種類別漁獲量

ア 小型底びき網

漁獲量は4,752 tで、前年に比べ499 t（10%）減少しました。

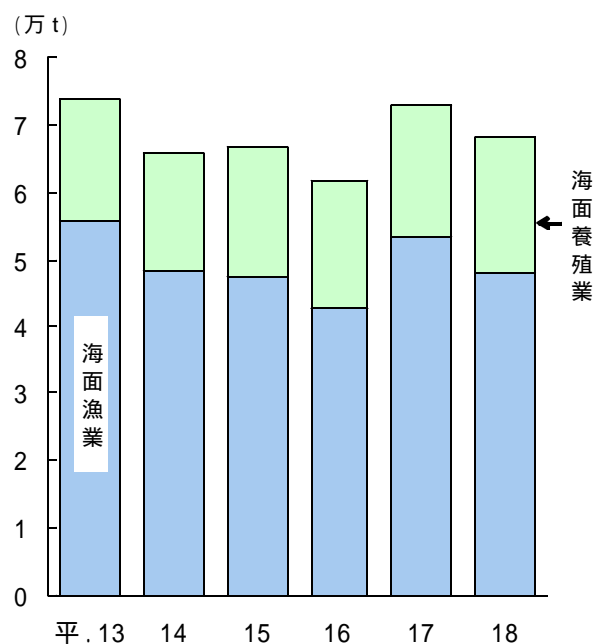
これは、たい類（主にまだい）、かれい類等で増加したものの、いか類（主にこういか類）、えび類等で減少したためです。

イ ひき回し船びき網

漁獲量は5,818 tで、前年に比べ718 t（14%）増加しました。

これは、かたくちいわし、しらすが増加したためです。

海面漁業・養殖業生産量の推移



ウ まき網

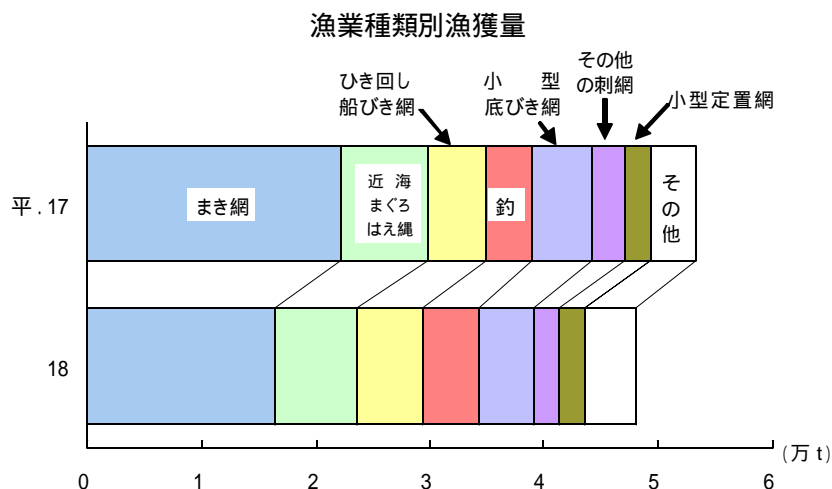
漁獲量は1万6,328 tで、前年に比べ5,754 t (26%) 減少しました。

これは、前年豊漁であった、さば類が7,681 t (60%) 減少したためです。なお、前年はさば類が58%、あじ類が22%を占めていましたが、本年はさば類が32%、あじ類が31%を占めています。

エ その他の刺網

漁獲量は2,287 tで、659 t (22%) 減少しました。

これは、たい類、えそ類、たちうおが増加したものの、いぼだい、あじ類(主にむろあじ類)、かれい類等の魚種で減少したためです。



オ 小型定置網

漁獲量は2,235 tで、前年に比べ75 t (3%) 増加しました。

これは、あじ類(主にまあじ)、さば類で減少したものの、ぶり類、いか類等で増加したためです。

カ 近海まぐろはえ縄

漁獲量は7,276 tで、前年に比べ485 t (6%) 減少しました。

これは、めばちは増加したものの、びんなが、きはだが減少したためです。

キ 釣

漁獲量は4,905 tで、前年に比べ869 t (22%) 増加しました。

これは、たちうお、ぶり類、いさき等の漁獲量が増加したためです。

(2) 主な魚種別漁獲量

ア いわし類

漁獲量は1万292 tで、前年に比べ1,716 t (20%) 増加しました。

これは、ひき回し船びき網、まき網で増加したためです。

イ まぐろ類

漁獲量は7,087 tで、前年に比べ469 t (6%) 減少しました。

これは、はえ縄漁業で、めばちは増加したものの、びんなが、きはだで減少したためです。

ウ あじ類

漁獲量は6,407 tで、前年に比べ40 t (1%) 増加しました。

エ さば類

漁獲量は5,327 tで、前年に比べ7,987 t (60%) 減少しました。

これは、主にまき網漁業で7,681 t (60%) 減少したためです。

オ たちうお

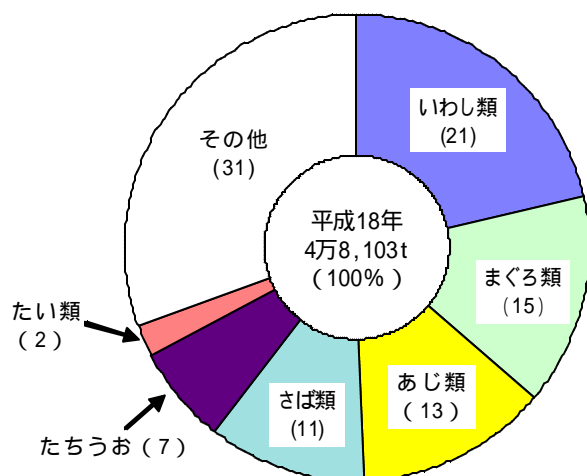
漁獲量は3,234 tで、前年に比べ870 t (37%) 増加しました。

これは、釣漁業で940 t (53%) 増加したためです。

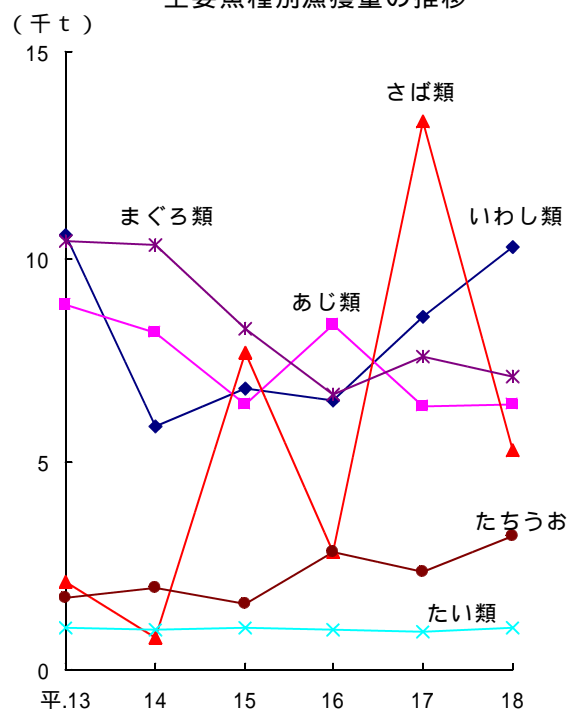
カ たい類

漁獲量は1,032 tで、前年に比べ95 t (10%) 増加しました。

主要魚種別漁獲量の構成比



主要魚種別漁獲量の推移



2 海面養殖業

海面養殖業の収穫量は2万42tで、前年に比べ434t (2%) 増加しました。

主な養殖種類別には次のとおりです。

(1) ぶり類養殖

収穫量は1万5,510tで、前年に比べ485t (3%) 増加しました。

(2) ひらめ養殖

収穫量は1,518tで、前年に比べ60t (4%) 増加しました。

(3) まだい養殖

収穫量は1,142tで、前年に比べ314t (22%) 減少しました。

(4) くるまえば養殖

収穫量は163tで、前年に比べ63t (63%) 増加しました。

(5) かき類養殖 (殻付き)

収穫量は66tで、前年に比べ30t (31%) 減少しました。

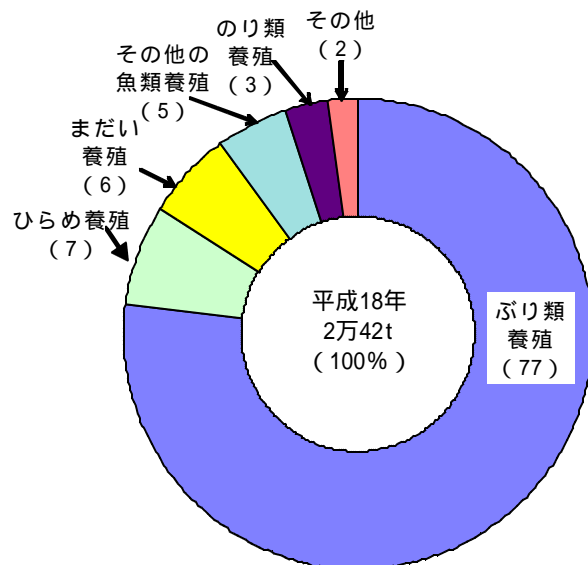
(6) のり類養殖

収穫量は587tで、前年に比べ119t (25%) 増加しました。

(7) 真珠養殖

収穫量は457kgで、前年に比べ77kg (20%) 増加しました。

海面養殖業種類別構成比



【調査の仕様】

1 調査の目的

本調査は海面漁業・海面養殖業の生産に関する実態を明らかにし、水産行政に必要な資料を提供することを目的としています。

2 調査の対象

本調査は、大分県内の海面漁業経営体及び水揚機関を調査対象としました。

3 調査期間

平成18年1月1日から12月31日までの1年間です。

なお、遠洋漁業等で年を越えて操業する場合は、陸揚げのために港に入港した日の属する年に含めて調査を行いました。

4 調査方法

水揚機関等に調査票を配布し、自計申告する方法又は調査員若しくは職員による面接聞き取りの方法や、漁獲成績報告書の取りまとめによって行いました。

5 その他

この資料は概数値であり、確定値については、追って刊行する「第54次大分農林水産統計年報」に掲載します。

生産量は、「t」単位とし（真珠養殖を除く）、単位未満を四捨五入したため計と内訳が一致しない場合があります。

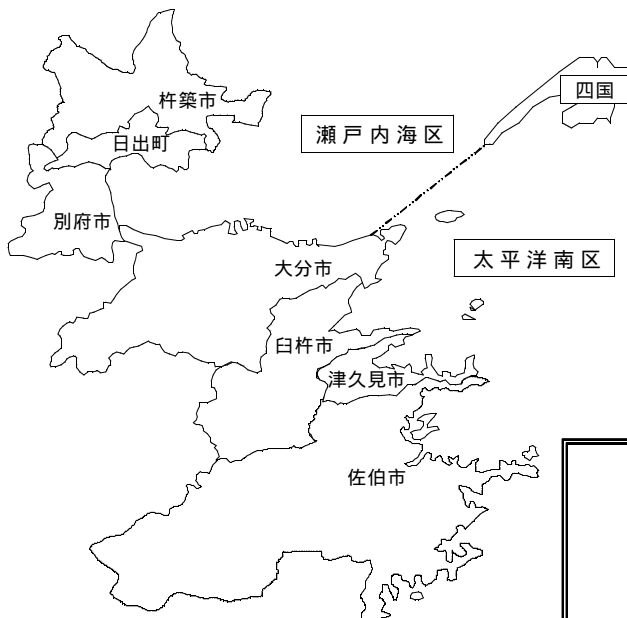
生産量のうち類・貝類は、殻付き重量、海藻類は生換算重量です。

この調査結果は、生産物を採捕した漁業経営体が所属する地域別に計上したもので、いわゆる属人統計です。

この資料は九州農政局大分農政事務所ホームページでご覧になれます。

[【http://www.oita.info.maff.go.jp/】](http://www.oita.info.maff.go.jp/)

漁域図



問い合わせ先

本調査結果について

連絡先:九州農政局 大分農政事務所 統計部

経営・構造統計課

TEL 097-532-6159 FAX 097-538-1820

農林水産統計全般について

連絡先:九州農政局 大分農政事務所 統計部

統計企画課

TEL 097-532-6177 FAX 097-538-1820